

朝比奈 (朝夷奈) 切通し (古道50選)

七切通しの一つ。国史跡。鎌倉と六浦を結ぶ道で、大小二つの切通しからなる。最も高く峻険な道。初代侍所別当和田義盛の3男、朝比奈三郎義秀が太刀で一夜のうちに切り開いたという伝説からこの名をもつ。1241(仁治2)年4月、工事着手

* 十二所: (じゅうにしよ、そ、そう) 地名は熊野十二所権現社(現十二所神社)に由来。「家村十二所アル故二名ク」とする俗説もあり。

* 滑川: 全長7.6km、旧市域内最大の二級河川。源流は朝比奈切通しの谷と二階堂の谷奥(二階堂川)で「歌の橋」で合流、由比ヶ浜に注ぐ。川名の由来は、川の底が青苔ですべるからとも、凝灰砂岩の川底を水が走る様子からとも。

光触寺 こうそくじ 時宗 坂東33観音霊場の第7番。

本尊の運慶作といわれる頼焼阿弥陀(ほほやけあみだ)には、無実の罪をきせられ、頼に焼印を押される男の身代わりに自らの頬を焼かせたという伝説が伝わる(通常非公開)。

塩嘗地蔵 :もと金沢街道の傍らにあり、六浦の塩売りが毎朝この地蔵に初穂の塩をお供えすると、帰りには地蔵が塩を嘗めてしまわれ必ず無くなっていたので塩嘗の名がついた。

杉本寺 (天台宗) 坂東33観音霊場の第1番。

天平6年(734)光明皇后の寄進により、行基が開いたと伝える、鎌倉で最も古い寺。本尊は3体ある十一面観音立像。開基の行基、恵心、慈覚の3人による作とされる。裏山には、三浦氏の一族が築いた杉本城跡が広がる。

雪洞祭 (8/7~8/9)

鶴岡八幡宮の境内に鎌倉ゆかりの著名人が描く約400の雪洞が飾られ18時頃~21時頃まで点灯される。8/7は15時より夏越祭、「茅の輪くぐり」の神事が、8/8は17時より立秋祭、8/9は10時より実朝祭が行われる。